

～ 夏休みは本を読もう！の巻 ～

夏休みの貸し出し
始まります(7/1から)

おすすめ本も
紹介します

貸出期間

7/1 Mon. → 7/12 Fri.

貸出冊数

返却期限

7 冊

9/25 Wed.

蔵書点検期間 7/16Tue.～9/13Fri. 図書館は閉館します 9/17Tue から OPENします！



読書感想文向けの本 20 選

1. 『僕は上手にしゃべれない』 913シ 椎野直弥/著

吃音に悩む悠太は、自己紹介や授業の発表など今まで色々なことをあきらめてきたけど、中学生になって放送部に入り、自分の殻を破る決心をします。

2. 『カラフル』 913モ 森絵都/著

なぜだか死んだ「ぼく」の魂が、自殺した少年「真」の体にホームステイしながら「ぼく」が犯した罪を思い出していく、住む世界の境界を越えた青春ストーリー。

3. 『バッタを倒しにアフリカへ』 486 前野ウルド浩太郎/著

子どもの頃に「昆虫の研究者になってバッタに食べられたい！」という夢を持ち、アフリカで様々なトラブルにも負けずにたくましく生きる若き研究者・前野さんの奮闘記です。

4.『素数ゼミの謎』486 吉村仁/著

ゼミといえば夏の風物詩、日本のゼミは毎夏に姿を見せますが、世界には13年、17年毎に現れるゼミもいます。その不思議な周期ゼミの謎を追いかけた本。

5.『さよなら田中さん』913 ス鈴木るりか/著

主人公は小学6年生の母子家庭の女の子。貧乏だけど、毎日明るく楽しく過ごしているところにこちらも元気をもらいます。なんと著者は皆さんと同じ中学生です！

6.『佐賀のがばいばあちゃん』916 島田洋七

昭和の芸人・島田洋七さんの少年時代の思い出話。佐賀の祖母宅に8歳で預けられ、超貧乏生活でもばあちゃんのおかげで笑いがたえなかった日々をつづっています。

7.『マチルダは小さな大天才』938 ダロアルド・ダール/著

4さいで図書館の本を全部読んじゃうくらいの大天才少女マチルダ。両親や学校の校長先生など横暴な大人たちをやっつける痛快仕返し物語。

8.『あん』913 ドリアン助川/著

ハンセン病差別の話。千太郎のどら焼き屋で働くことになった徳江。彼女の作るあんはたちまち評判になるが、ある時、徳江がハンセン病棟から来ていると噂が立ち…。

9.『ある晴れた夏の朝』913 コ小手毬るい/著

日系アメリカ人のメイをはじめ、ユダヤ系アフリカ系など、ルーツの違う高校生たち8人が「原爆」の是非について討論します。果たして結末はどう出るのでしょうか…。

10.『ザ・ヘイト・ユー・ギブ』933 トアンジー・トーマス

目の前で幼なじみが白人警官に射殺されてしまう。正当防衛を押し通す警官と真実を伝えるために立ち上がる女子高生スター。アメリカが抱える問題を正面から描いた作品。

11.『わたしで最後にして』 234 藤井克徳/著

ナチスドイツによる障がい者虐殺について。ユダヤ人大量虐殺の影でまた人権を無視した恐ろしいことが行われていました…。

12.『わからん薬学事始』 913 マまはら三桃

薬の製造を唯一の産業とする島で 470 年ぶりに生まれた男子・草太は薬の改良のため東京へ修行に行く。理系の知識が豊富ではあるが、非常にわかりやすく楽しい物語。

13.『4TEEN』 913 イ石田衣良/著

4 人の男子中学生が、学校や日常生活の中で思春期だからこそ直面せざるを得ない様々な問題を乗り越え、友情を深めていく物語。続編『6TEEN』もあります。

14.『西の魔女が死んだ』 913 ナ梨木香歩/著

学校に行きづらくなった中学生のまいが、自然豊かなおばあちゃんの家に住むことになり、「魔女修行」をしながら自分の居場所を見つけていく物語。

15.『アルジャーノンに花束を』 933 キダニエル・キイス/著

主人公は 32 歳で幼児の知能しかないチャーリー。彼は賢くなりたい一心で手術を受け天才的な頭の良さを手に入れます。でも果たして彼はそれで幸せになったのでしょうか…。

16.『かがみの孤城』 913 ツ辻村深月/著

こころは中学入学早々嫌がらせを受け学校に行けなくなってしまう。ある日こころの部屋の鏡が突然光り出し、その向こうには狼の面をつけた少女と 6 人の中学生がいた…。

17.『図書館の魔女』 913 タ高田大介

鍛冶の里に生まれ育ち本も読んだことない少年キリヒトが、王宮の命令で史上最古の図書館に暮らす魔女マツリカに仕えることにより、冒険が始まります！

18. 『ハリーポッターと賢者の石』 933 ロ J.K.ローリング/著

19. 『ナルニア国物語』 933 ル C.S.ルイス/著

20. 『ドアの向こうの国へのパスポート』 933 ド トンケ・ドラフト/著

ある人気作家の家にある謎めいたドアの向こうへ行くために、ラウレンゾーやクラスの仲間たちが、課題と向き合いながら自分やお互いをより深く知り成長していく物語。



1. 『ノクツドウライオウ』 913 サ 佐藤まどか/著

2. 『アフリカでバッグの会社はじめました』 289 江口絵理/著

3. 『希望のひとしずく』 933 カ キース・カラブレーゼ/著

4. 『アンナの戦争』 ヘレン・ピーターズ/著

5. 『チェスターとガス』 ケイミー・マガヴァン/著

6. 『フォグ 霧の色をしたオオカミマルタ・パラッツェージ/著

7. 『ぼくたちはまだ出逢っていない』 八束澄子/著

読書感想文は難しく考えなくていいよ

自分の思ったこと、感じたことを書け！

注意すること

「話し言葉」でなく「書き言葉」で書こう

・「いっぱい」 → 「多い」

・「ちょっと」 → 「少ない」

・「とても」 → 「非常に」 など